

丸之内だより

## 工事中の全國水力發電所

——七月初旬遞信省發表——

遞信省電氣局水力課發表によれば七月初旬現在に於ける工事中の水力發電所は合計61ヶ地點でその發電力は888,020キロワットであるが、その内訳は次の通りである。

事業者名	發電所名	河川名	發電力 K.W.	臺灣博士
電氣化學工業	和賀川	和賀川	15,500	
同	姬川第五	姬川	24,400	
盛岡電燈	繫	零石川	3,150	
仁賀保電氣組合	白雪川	自及赤石川	970	
宮城縣	關	蓬萊川	2,000	
東北振興電力	阿武隈川	鮫川	35,000	
磐城炭鑑	新	新郷川	2,600	
東信電氣	阿賀野川	阿賀野川	23,000	
東京電燈	濃長川	濃長川	158,000	
同	小瀬川	瀬川及川	26,200	
新湯電力	伊南川	伊南川	17,300	
鐵道省	千伊川	千伊川	50,000	
京濱電力	南手谷川	南手谷川	2,610	
同	島川	島川第三	1,070	
中央電氣	板倉川	板倉川	8,150	
中日本電曹達	矢代川第三	矢代川	1,980	
群馬水電	原町川	吾妻川外三	24,000	
同	用川	長川	12,400	
上毛電力	一ノ瀬川	大瀬川	10,700	
日本電力	黒部川第三	黒部川	77,500	
關富山縣	瀬戸川第二	馬瀬川	21,000	
同	有峯川	眞和田川	3,600	
同	和田川	和田川	24,000	
同	大品川	同	650	
富山縣	眞川第二	和田川	18,000	
日本拓業	第一庄川	庄川	5,900	
矢作水力	尾日川	尾添川日附谷川	17,200	
同	和合川	波合川	2,450	
手取川水力電氣	白山川	手取川	1,470	

大蔵省を去られた大熊喜邦博士



九州水力	三芳	玖珠川	4,600
日本窒素肥料	七瀧川第一	七瀧川	1,380
同	同第二	同	2,650
熊本電氣	川邊川第一	川邊川	2,500
九州送電	塚原	耳川	50,000
日本水電	高山川	高山川	2,700
計	61ヶ地點		888,020

### 大蔵省營繕管財局工務部長

#### 大熊博士勇退

大蔵省營繕管財局工務部長として30年間議事堂建築に献身し、其他同局施行の多數大建築を成就された工學博士大熊喜邦氏は其畢生の事業たる議事堂建築の竣工を期し、工務部長の榮職から勇退せられた。因に後任には池田譲次氏が就任されたが、池田氏は工務課長として大熊博士と共に議事堂建築を大成された人である。

### 鐵道省の大更迭

鐵道省では七月中旬人事の大更迭を行つたが、今回の異動は實に割期的とも云ふべく本省五局長はじめ地方局長も殆んど全面的に異動を見、之に伴ふ本省課長、地方局長等の更迭もあつて、國鐵多年の懸案たりし人事の刷新が茲に實現せらるゝ事となつた。因に今回の異動中工事關係を擧げれば次の如くである。

- 建設局長 河原直文氏退官せられ仙臺鐵道局長たりし平山復二郎氏が任せられた。
- 工務局長 山田隆二氏退官せられ工務局保線課長たりし阿曾沼均氏が任せられた。
- 建設局計畫課長 堀越清六氏が廣島鐵道局長に補せられたので、盛岡建設事務所長たりし岡田實氏が就任した。
- 盛岡建設事務所長 岡田實氏の後任には東京建設事務所技師小出雲次郎氏が起用された。
- 熊本建設所長 上山經亮氏は秋田へ秋田の佐藤忠三郎氏は熊本へ。
- 秋田建設事務所長 佐藤氏と入替に上山經亮氏が轉じた。
- 工務局計畫課長 古川淳三氏退官せられ門鐵工務部長山中良樹氏就任。



建設局長となられた平山復二郎氏

- 工務局保線課長 阿曾沼氏の後任には東鐵工務部長たりし沖鹽政次氏就任。
- 工務局改良課長 後藤宇太郎氏大阪改良事務所長となりし爲後任として新鐵工務部長三浦義男氏就任。
- 大阪改良事務所長 佐藤鼎氏退官せられ後任として工務局改良課長たりし後藤宇太郎氏轉任。
- 新鐵工務部長 三浦氏後任には工務局技師大島末彥氏轉任。
- 東鐵工務部長 沖鹽氏後任には廣鐵工務部長山口繁氏轉任。
- 門鐵工務部長 山中氏の後任には東鐵工務部保線課長小早川貞三氏轉任。
- 廣鐵工務部長 工務局保線課技師河合毅一氏就任
- 東鐵保線課長 小早川氏後任として工務局改良課技師板橋三郎氏就任。
- 札鐵改良課長 伊藤政恵氏工務局計畫課勤務となり後任には青森保線事務所長平松吉二氏が就任。
- 札鐵保線課長 重森幹之助氏工務局保線課勤務となり後任は國府津保線事務所長精稻豐二氏就任。
- 青森保線事務所長の平松氏の後任として上野保線事務所の須内鼎五氏就任。
- 大阪保線事務所長 白石鐵造氏工務局勤務となり後任は仙鐵保線課長中村正照氏が就任。
- 仙鐵保線課長 中村氏後任として下關保線事務所長中津梅慎二氏就任。
- 下關保線事務所長 中津梅氏の後任は東鐵改良課の市村益夫氏就任。

○國府津保線事務所長 積稻氏の後任として鳥栖保線事務所長野村龍雄氏就任。

○鳥栖保線事務所長 野村氏後任として大鐵大阪保線區長たりし南野鑑夫氏が就任した。

### 關門隧道兩豎坑工事成功

本年2月12日關門鐵道トンネルルートの下關側起點彦島弟子待海岸で掘鑿を開始した試掘豎坑工事は工費5萬圓、延人員2萬人の科學戰士を動員し晝夜兼行、難工に難工を重ねて掘鑿をつづけた結果6月26日正午ついに豫定の深さ55メートル地底をめでたく征服し著工以來約4ヶ月にわたる地下突撃戦の幕を閉じ海底トンネル掘鑿史の輝かしい第一ページを記した。これで下關側のトライアル・シャフトも一段落となつた、今度は兩豎坑の底に27メートルばかり海中に突出た調査導坑掘鑿の根底を造る電動機ポンプ、壓搾空氣などの材料置場を建設七月中旬から本トンネルより一足先に海底を横断する豆トンネルの掘鑿に著手し素掘式で工事を進め一方同弟子待海岸に直徑7メートル深さ4メートルの本豎坑を掘ることとなつた。

### 滿洲に於ける大發電計畫

滿洲國では電力の低廉な供給と5ヶ年計畫遂行に要する動力資源を確保するため水力發電開發の大發電計畫を企圖しつつある、先づ第一次計畫として松花江水力第二次計畫として鴨綠江水力、兩者併せて06萬キロの發電を目標として發電所建設計畫を進めてゐたが滿洲國實業部で更に第三次計畫として天然

の貯水池鏡泊湖(濱江省)の水力を利かし鏡泊湖と牡丹江上流の間に30萬キロ出力を目標に發電所を建設することに方針を決定したが、此發電所は第一期工事費1,000萬圓鴨綠江水電に次ぐ大建設工事として注目されてゐたが、愈々來月中工事に着手される事となつた。

本工事はダム工事が極めて簡単であり、建設位置が圖佳線東京城驛より僅か十キロの地點に位し交通の便がよいために鴨綠江、松花江兩水力發電所より遅れて計画されながら真先に完成される豫定になつてゐる。

### 眞那板隧道掘鑿新記錄

昨年末着工した長建の大糸線中直營にて掘鑿中の眞那板隧道(3糠113米)は導坑專進法により着々進工中で7月10日には早くも1糠に達し、また6月中における掘進状況は218米を掘鑿した、從來日本における導坑專進の日本記錄は仙山線仙山隧道(昨年8月)の210米であるがこれは導坑貫通の直前で懸賞金もあり地質も又良好で支保工なく日數も一日多い、これに對し今回の記錄は懸賞金もなく地質不良の爲め支保工を施し日數も又小の月で一日少いにも拘らずこの日本新記錄を樹立したのである。

從事員の獻身的努力は勿論であるが導坑專進掘鑿法の威力を遺憾なく發揮したもので從業員は大喜びで思はず感激の萬歳を唱へて居るが然し尙更に從業員一同は1ヶ月300米の記錄を目指してあはよくば1ヶ月351米(米國カスクードトンネルに於て示現された世界記錄)を破るべく張り切つてゐる。

土木工事報	第十三卷 第八號	定價金七拾錢 (稅二錢)	毎月一回一日發行 二ヶ年十二冊發行
普通購讀料			
壹部七十錢 稅二錢	昭和十二年七月廿六日印刷納本	關西支局	
參ヶ月貳圓 稅共	昭和十二年八月一日發行		
六ヶ月四圓 同			
一ヶ月八圓 同			
外國一部 稅共 七十八錢	編輯兼印 刷發行人 岡崎保吉	大阪市浪速區惠美須町 2丁目13	
	東京市豐島區長崎仲町二丁目三六二九	工事畫報社支局	
	共同印刷株式會社	電話戎86番	
	東京市小石川區久堅町百八番地		
	發行所 工事畫報社	大賣捌所	
	東京市麹町區丸ノ内三丁目六		
	電話丸ノ内二六三三番	東京堂・東海堂	
	振替 東京七〇貳六五番	大東館・北隆館	
注文は總て前金、送金 は必ず振替貯金にて、 東京七〇貳六五番宛拂 込の事、但し六ヶ月以 上の申込は御希望によ り集金郵便を差出しま す。			



合  
資  
社

# 東京衡機製造所

代表社員 工學博士 伊東久米藏

本店 東京市麹町區丸ノ内二丁目六番地  
工場 東京市品川區北品川四丁目五一六番地

電話九ノ内(23)一七八七番 一九二四番

電話高輪(44)一八八五番

## 目科業營

各  
道  
路  
材  
料  
試  
驗  
機  
動  
力  
計

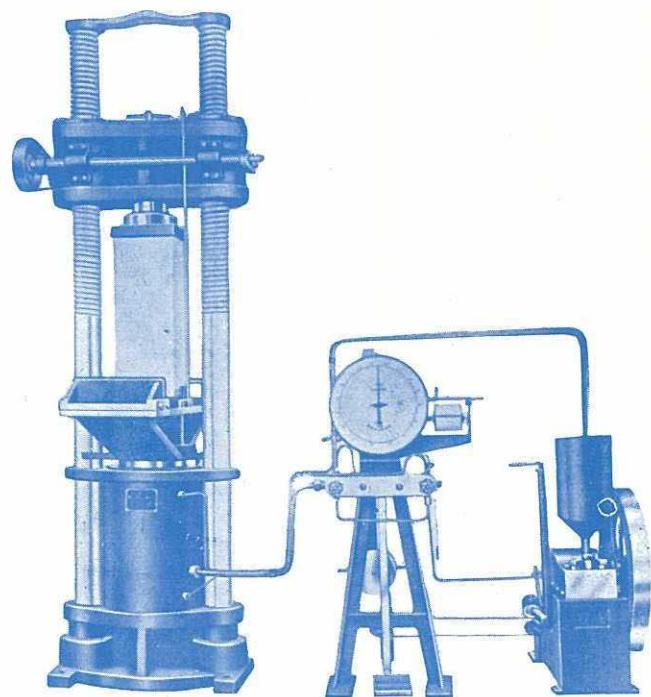
### 試驗機

セメント及コンクリート試驗機

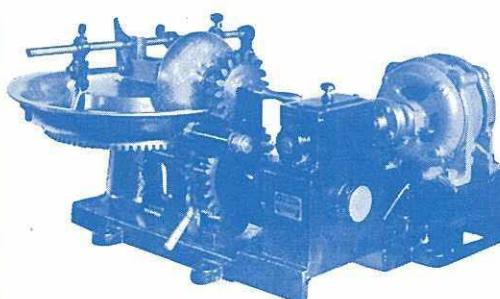
衡器及天秤類一般  
鐵道及礦山用貨車掛衡橋

### 衡器

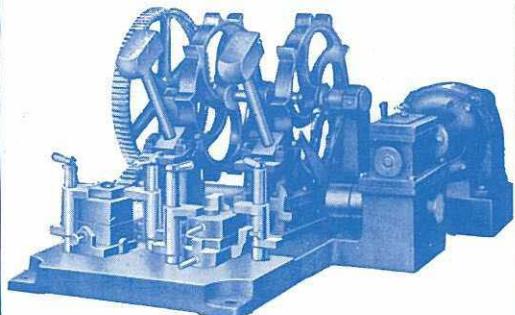
專賣特許東京衡機自動秤



東京衡機アムスラー型三百噸耐壓及彎曲試驗機  
特許東京衡機式改良振子動力計附



商工省標準「セメント混合機」  
(スマインプリツクシユメルツアーモード)



商工省標準機械機(ペーメルテンスモード)

# THE "KOJIGAHO"

AN ILLUSTRATED CONSTRUCTION REVIEW

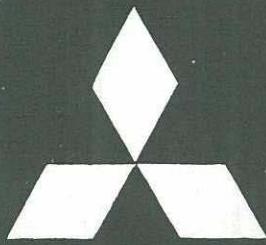
VOL. 13, No. 8

Published Monthly by the Kojo-Gaho-sha

Tokyo Japan

昭和十四年七月二十二日第三種郵便物認可  
八月一六日印制納本  
(毎月一回發行)

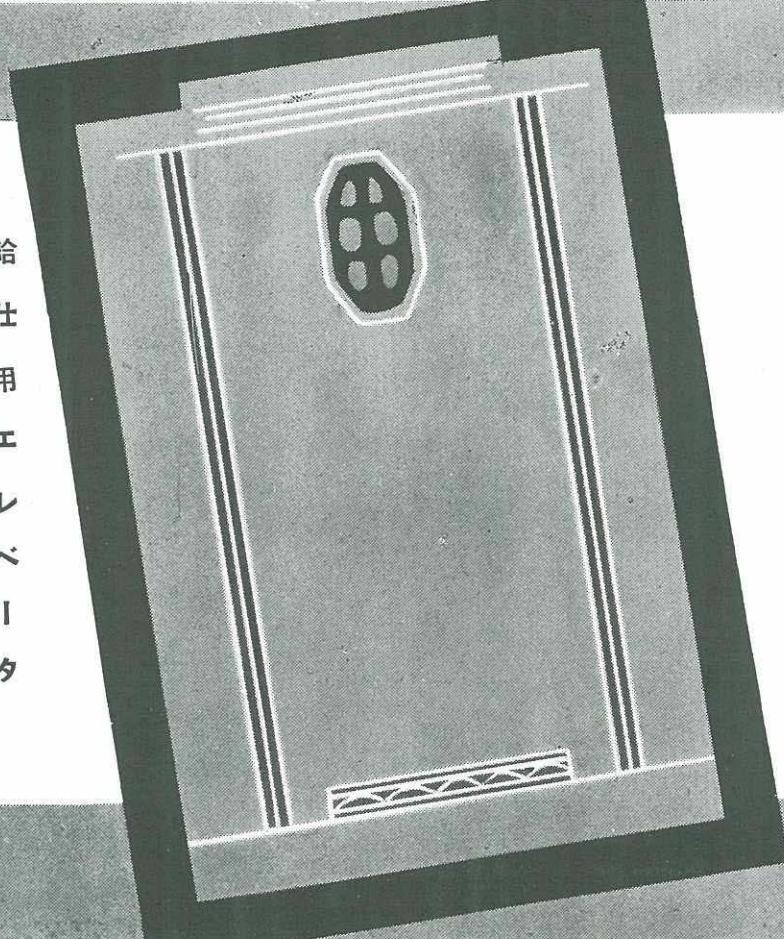
土木工事畫報 第十三卷 第八號



# 三菱エレベータ

給仕用エレベータ  
乗用エレベータ  
製作と据付

電気自動階段  
貨物用エレベータ



一手販賣店

三菱事務株式會社

機械部 東京丸ノ内・支部 支店 出張所各地

三菱電機株式會社

本店 東京丸ノ内 製作所 神戸・名古屋・長崎

定價金七十錢 送料二錢